

国際消防救助隊の派遣

京都市国際消防救助隊のメキシコ地震災害派遣

■ メキシコ地震に伴う国際消防救助隊（IRT）の現地活動

平成29年9月20日に発生したメキシコ地震では、日本から国際緊急援助隊として、消防、警察、海上保安庁、外務省、JICA、医療関係者、建物構造評価の専門家などで構成する救助チーム72名が現地に派遣されました。

その中でも、消防機関で構成する、国際消防救助隊（IRT：International Rescue Team of Japan fire service）は、総務省消防庁をはじめ7消防本部の合同で、京都市消防局の救助隊員3名を含む、17名が派遣されました。

日本チームは、主にメキシコシティの3箇所で、メキシコの救助隊や他国の救助隊と共に活動を行いました。建物の中でも脆弱なものは階層がなくなるくらい潰れており、日本チームは、そのような建物を掘削、削岩し、障害物を排除しながら要救助者の発見に至り、メキシコの救助チームと共に救出しました。また、子犬も発見し、家族のもとへ返しています。



紫明消防出張所・紫明高度救助隊の運用開始

平成27年度から建替え整備中であった「北消防署室町消防出張所」について、工事の完了に伴い、平成29年10月1日より救助隊を配置し、運用を開始しました。

なお、出張所の名称については、出張所が所在する地域の名称でもある「紫明」が分かりやすく、地域に定着していることから、本整備を機に「北消防署紫明消防出張所」に改称しました。

■ 整備概要

旧室町消防出張所の庁舎は、昭和45年12月の整備以降、消防隊1隊（消防ポンプ車1台）を配置し、運用していましたが、施設が狭いことや老朽化が著しいことから、建替え整備を進めてきました。紫明消防出張所では消防隊に代えて高度救助隊を配置するとともに、庁舎の規模を拡大し、大型救助工作車、救助工作車及び小型水槽車の3台を配置し、災害に応じた車両に乗り換えて出動する体制としました。

■ 施設概要

住 所：北区小山南上総町1-1

施設規模：耐火構造2階建て 延べ約342㎡

1 階：車庫、器材倉庫等

2 階：事務所、待機室

外 観 等：外観は勾配屋根、格子風の意匠を採用し、外壁は1階アプローチ部分を羽目板張りとするなど、京都の街並みになじむ意匠としています。室内の壁には、京都産の木材である「みやこ杉木（そまぎ）」を利用しており、環境に配慮した設備として、太陽光発電設備、太陽熱温水器、雨水貯留タンク等を設置しています。



■ 配置車両



小型水槽車・救助工作車・大型救助工作車



消防局公式キャラクター誕生

「第47回全国消防救助技術大会」が平成30年度、京都市で開催されることを契機に、京都市交通局のPRコンテンツ「地下鉄に乗るっ」シリーズとコラボし、消防局公式キャラクターを制作、平成29年11月9日の「119番の日」にお披露目しました。

※「第47回全国消防救助技術大会」は、台風の接近に伴い、中止となりました。

■ キャラクター概要

北山 駆（きたやま かける）

京都市消防局の特別高度救助隊員（28歳）で人命救助一筋。陸上経験者で北山周辺をジョギングしている。体脂肪率1ケタ。動物が出てくる感動系の映画に弱い。無類のラーメン好きだが猫舌。通勤時の地下鉄では絶対に座らない主義。

今後、京都市消防局の発行する広報媒体やインターネットホームページ等に登場し、より皆様に親しんでいただけるよう、活躍する予定です。

◆ 「地下鉄に乗るっ」とは

地下鉄・市バス応援キャラクター「太秦萌」「松賀咲」「小野ミサ」の仲良しの幼なじみ3人と、萌の姉「太秦麗」、ミサの兄「小野陵」、十条タケルらが、「地下鉄に乗るっ」を合言葉に京都市営地下鉄をPRするコンテンツ。

平成22年に設置された京都市の「若手職員増客チーム」が元となるキャラクターを作成、平成25年、地下鉄利用促進ポスターに萌たちを採用するにあたって、デザイン会社・ジイケイ京都とイラストレーターの賀茂川氏の手によってキャラクターデザインをリニューアル。以降、地下鉄利用促進プロジェクト「地下鉄に乗るっ」として、様々な広報媒体に展開しています。



第47回全国消防救助技術大会 PR ポスター



京都市営地下鉄掲出ポスター